

<大阪駅前水曜集会 200回 5・3アピール>

歴史を記憶し、平和と女性の人権が守られる社会をめざしましょう！

2004年12月、若者たちによって日本軍「慰安婦」被害者全国証言集会在、全国10カ所で同時開催されました。翌2005年も各地で証言集会の準備が進められる中、大阪に集まった若者たちは金学順さんの証言から14年を経てもなお歴史否定発言を繰り返し、教科書から「慰安婦」記述を削除しようとする日本政府に対し、自分たちができることを模索していました。そして、戦後60年目の2005年10月より大阪駅前水曜集会がスタートしました。

「みなさん、『慰安婦』問題を知っていますか」大阪駅前歩道橋上で小さなマイクを手に、懸命に訴えようと、次第に多くの若者や市民が集まり、被害者の写真や横幕、思い思いのバナーを持って並びました。2009年以降は関西ネットが主催を引き継ぎ、歌や踊りも交えてアピールし、休むことなく続けられてきました。

その後、在特会ら右派勢力の執拗な妨害行為と暴言・暴力が始まり、警察権力も加わって私たちの行動を押しつぶそうとすることもありました。何度も中断させられ、あげくに歩道橋上から排除され、場所を転々としながらゲリラ的に開催した時期を経て、2013年より大阪駅ヨドバシカメラ前で開催するようになりました。コロナ禍で街頭での開催を断念せざるを得なかった時期は、webやzoomを駆使しながら行いました。

そして今日、200回目の水曜集会を迎えました。最も辛いのは、18年間、200回も訴え続けながら、未だ解決を見ることができないまま多くの被害者と別れなければならなかったことです。さらに、被害者が願った、誰もがその尊厳を守られる、差別や性暴力のない平和な社会は遠のくばかりです。韓国でも、ともに歩んできた仲間たちが犯罪者にされようとするほど、「慰安婦」問題が激しいバッシングに晒されています。

安倍政権が進めた歴史否定と戦争への道を、岸田政権はさらに推し進めています。世界では今も戦火や紛争が絶えず、ウクライナから戦時性暴力の発生も伝えられてきているのに、平然と加害責任を被害国・被害者に押し付けてなかったことにする一方で、平和と女性の人権を求める各国市民らの「平和の少女像」設置の動きも監視し、強引に撤去させています。

男性中心社会で女性たちの生き辛さに拍車がかかる中、居場所を失った少女たちを狙う性売買斡旋業者の存在やその性搾取の実態が放置されたまま、支援者に容赦のないバッシングが加えられていることもまた、日本軍「慰安婦」問題に対する政府の姿勢と重なっています。今こそ過去を記憶することで平和で女性の人権が守られる社会を実現させましょう。

18年間、水曜集会をともにしてくださった、多くの仲間のみなさんの存在があったからこそ、あきらめないで続けることができました。日本政府の公式謝罪と賠償が実現し、ともに喜びあえるその日まで、またこの場所から、力いっぱい声をあげていきましょう！

2023年5月3日



日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク

HP: <http://www.ianfu-kansai-net.org/>

E-mail: info@ianfu-kansai-net.org